

コンピュータを用いた

「近畿病院図書室協議会総合目録」の作成

大阪回生病院図書室

加 島 民 子

はじめに

近畿病院図書室協議会（以下協議会と略す）は昭和49年秋に設立した機関加盟による団体で、現在会員数62機関、年会費15,000円で、相互協力と担当者の研修を主眼に様々な活動を行っている。なかでも文献の相互貸借活動は協議会の中心的な事業としてはほぼ定着している。

ここでは相互貸借事業の1つである医学雑誌の総合目録（以下目録と略す）の発行について、コンピュータによる編集作業を中心に紹介する。

総合目録発行の経緯

協議会がこれまでに発行した目録は表1に示すとおりである。総合目録の作成は協議会

表1 近畿病院図書室協議会発行
医学雑誌総合目録

目 録 名	発行年	参加病院	収録誌数
病院図書室医療関係雑誌所在目録 1975年度受入雑誌（欧・和）	1975年	34病院	813誌
病院図書室医療関係雑誌所在目録 欧文雑誌 1976.1977年度追加版	1977年	33病院	130誌
医学雑誌総合目録 欧文編	1981年	44病院	854誌
医学雑誌総合目録 和文編 国内欧文編・華韓編	1984年	47病院	863誌
医学雑誌総合目録 欧文編 第二版	1987年	51病院	1,013誌

結成時に既に計画していた。しかし、当時は蔵書整備が十分できていない図書室も多く、また協議会の運営もまだ微力で、目録作成の経費の捻出や労力の確保も覚束ない状態であった。設立の翌年にまず、総合目録ではなく受入れ中の雑誌の一覧に留まる、現行所在目録「病院図書室医療関係雑誌所在目録」を作成した。総合目録は7年後の1981年によく欧文雑誌編を完成した。この目録はIBMの電動タイプライターを備えている会員図書室で分担して版下を作成した。

引き続き和文編の作成に取り掛かった。欧文のように手作業で会員が版下を作成するのは難しく、印刷経費などと比較検討した結果、コンピュータの導入を決定し、和文編を

完成させた。更に欧文編の初版発行後6年目に、その間の会員数の増加や所蔵状況の変化に対応すべく、欧文編第2版をコンピュータで作成した。

表1の目録の収録誌数を見れば、目録の内容が徐々に充実しているのがわかる。欧文編の初版に比べ、第2版の収録雑誌は159誌増加している。また1975年の現行目録の収録誌は和洋合わせて813誌であったが、現在の総合目録の和文、欧文を合わせると、1876誌である。ところで、そのうちの843誌は会員のうちの1図書室のみ所蔵のユニークタイトルである。会員の大半が1種類以上のユニークタイトルを所蔵している。これは病院図書室の特徴であり、また看護学校や鍼灸学校の

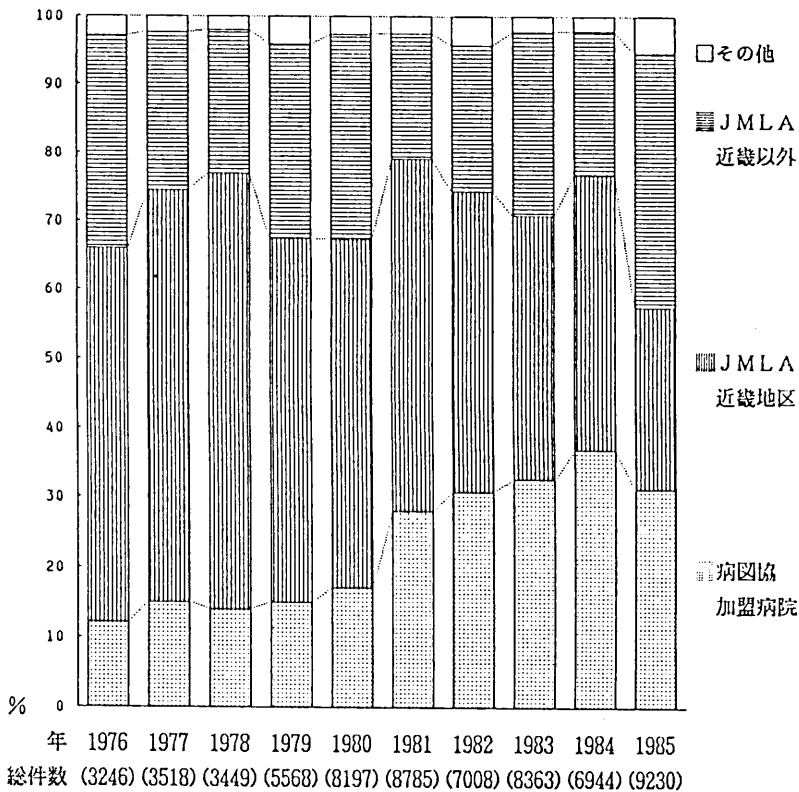


図1 相互貸借依頼先別分布 10年の推移

会員をも含む協議会の特徴ともいえる。

協議会の年次統計によると、会員全体の総数で年間約 8,000 から 9,000 件の文献複写が相互貸借によって入手されている。図 1 は過去 10 年間の相互貸借の依頼先別の比率をグラフで表したものである。1981 年は欧文目録初版、1984 年は和文目録発行の年である。日本医学図書館協会（JMLA）加盟の大学図書館への依頼が依然過半数を占めてはいるが、目録の発行により、協議会内での相互貸借は有意な伸びを示した。文献複写件数で見ると約 3,000 件が協議会のネットワークで貸借されている。このような目録の効果からみても、改訂時の省力化を計ったコンピュータの導入は、時宜を得た選択であったといえるであろう。

目録のコンピュータ編集

コンピュータで打ち出した目録の実物は図 2（和文）図 3（欧文）に示すとおりである。アルファベット順に配列した雑誌のもとに所蔵機関（略称）別に所蔵、欠号情報が記載されている。和文編、欧文編ともほぼ同じシステムである。コンピュータは富士通の FACOM M 330（メモリー 5 MB、記憶容量 2.4 GB）を使用した。概要を表すフローチャートが図 4 である。

目録に必要なデータは 4 つのファイルに分類して格納している。即ち、所蔵レコード（54 桁）、欠号レコード（45 桁）、書誌マスター（824 桁）、機関マスター（552 桁）である。雑誌に付与した誌名 ID コード（8 桁）と会員機関に付与した機関 ID コード（5 桁）が各ファイル間の KEY になっている。誌名 ID コードの 8 桁は、誌名の頭文字の英文字（1 桁）、誌名のアルファベット別の連番（3 桁）、雑誌の追加用の予備（2 桁）、雑誌の目録上の区分（現誌名、旧誌名、付録誌など）の表示（2 桁）である。機関 ID コードの 5 桁は、都道府県番号（2 桁）、県別の会員連

番（3 桁）である。それぞれのファイルのレイアウトは図 5～図 8 に示す。和文と欧文では雑誌情報の書誌マスターに多少の相違がある。

編集作業としてまずファイル別に 4 種類の入力用データシートをデザインした。会員へ配布するシートは目録データシートと名付け、所蔵と欠号情報を 1 枚に記入するようになっている（図 9）。入力時にはこれを所蔵データシートとして用い、欠号については編集側で欠号データシートに転記した（図 10）。データシートの記入が目録編集で最も時間を要する作業である。

入力については、和文編は会員の有志がディスプレイを使用してリアルタイムで処理した。ワープロが現在のように普及する前であったので、漢字入力にはかなり苦戦した。欧文編の入力も当初はパソコンを設置している会員図書室で分担する予定であった。しかし具体的にパソコンの許容量やパソコンから汎用コンピュータへの移行作業などを検討し、一方で入力外注の見積を取り比較した結果、外注することに変更した。入力量は所蔵データは和文編 4547 件、欧文編 4732 件、欠号データは和文編 5906 件、欧文編 3848 件、書誌データは、和文編 1007 件、欧文編 1245 件、機関データは 62 件であった。

目録作成に携わった人員は欧文編初版 16 名、和文編 21 名、欧文編第 2 版は 6 名であった。コンピュータを導入し、入力を外部に委託することで、編集作業を大きく合理化することができた。

データファイルの利用

協議会のコンピュータファイル管理センター病院では、和文欧文両方の目録データを保管している。次回からの目録の改訂は非常に容易になるであろう。これらのデータは総合目録作成のほかにも、協議会活動に利用することができる。各会員毎の図書室所蔵目録の作成は既に申し込みに応じている（図 11）。

- 府母子 1 (1972) +
 飛騨の公衆衛生
 高山 高山保健所
 高山赤 48 (1974) +
 皮膚
 大阪 日本皮膚科学会大阪地方会
 国大 1 (1959) - 20 (1978)
 欠 8
 大 遼 1 (1959) - 11 (1969)
 住友 22 (1980) +
 大回生 2 (1960) - 19 (1977)
 奈病 9 (1967) +
 欠 12 (4)
 松山赤 12 (1970) +
 皮膚病学及泌尿器病学雑誌
 →日本皮膚科学会雑誌
 皮膚病診療
 東京 協和企画通信
 長浜赤 1 (1979) +
 大 遼 1 (1979) +
 住友 1 (1979) +
 大回生 1 (1979) +
 姫路赤 2 (1980) +
 松山赤 4 (1982) - 4 (1982)
 皮膚病図説
 大阪 永井書店
 10 (1968-1970) //
 大 遼 1 (1959) - 10 (1970)
 大回生 1 (1959) - 10 (1970)
 皮膚科泌尿器科雑誌
 →日本皮膚科学会雑誌
 皮膚科紀要
 京都 京都大学医学部皮膚科教室皮膚科紀要編集部
 国京病 6 (1925) - 59 (1964)
 欠 35-43
 京1赤 62 (1967) +
 欠 69 (4)
 大 遼 1 (1923) - 64 (1965)
 欠 38-43
 大阪赤 46 (1950) - 69 (1974)
 大回生 48 (1952) +
 日生 54 (1959) +
 奈病 62 (1967) +
 島根 50 (1955) - 56 (1961)
 広市病 51 (1955) +
 松山赤 63 (1968) +
 皮膚科の臨床
 東京 金原出版
 大津赤 10 (1968) +
 欠 10 (1-5)
 近江八 12 (1970) +
 長浜赤 22 (1980) +

図2 総合目録欧文編

+

- 坂和 81 (1979) +
 C0573000
 Clinical Neuropharmacology
 New York
 住友 6 (1983) +
 C0575000
 Clinical Neurosurgery
 Baltimore
 大津赤 27 (1980) +
 淀キリ 9 (1963) - 26 (1979)
 欠 11-19, 25
 C0577000
 Clinical Nuclear Medicine
 Philadelphia
 茅崎徳 10 (1985) +
 兵成病 10 (1985) +
 C0580000
 Clinical Obstetrics and Gynecology
 Philadelphia PA
 大成病 5 (1962) - 26 (1) (1983)
 府母子 24 (1981) +
 姫路赤 17 (1974) +
 欠 17 (2), 25 (1)
 奈病 11 (1968) +
 島根 17 (1974) +
 C0590099
 Clinical Orthopaedics
 →Clinical Orthopaedics and Related
 Research
 C0600000
 Clinical Orthopaedics and Related Research
 Philadelphia
 1 (1953) - 25 (1962) : Clinical Orthopaedics
 26 (1963) - : E. T.
 高山赤 44 (1966) +
 欠 70
 大津赤 13 (1959) +
 欠 14, 16-26, 28-57, 59-67, 80-90, 93-95, 97
 長浜赤 154 (1981) +
 市長浜 38 (1965) +
 京1赤 159 (1981) +
 国大 98 (1974) +
 大遼 3 (1954) +
 欠 4, 7-8
 大成病 69 (1970) +
 欠 74, 84
 大厚生 6 (1955) +
 欠 7-8, 59, 117, 189
 住友 16 (1960) +
 欠 67
 大回生 192 (1985) +

図3 総合目録と文編

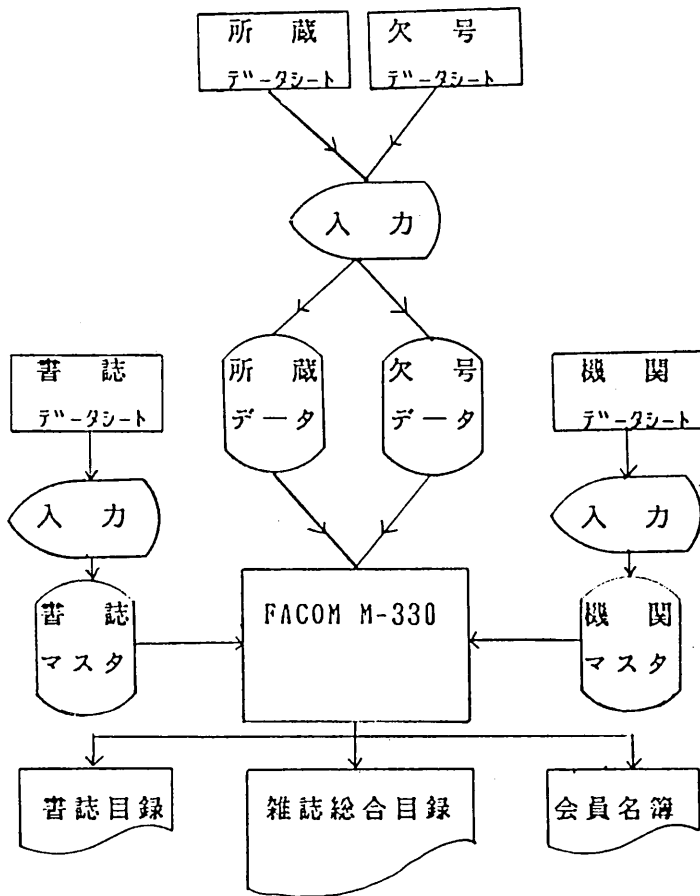


図4 近畿病院図書室協議会 医学雑誌総合目録
コンピュータ編集システムフローチャート

項目	所蔵KEY		開始 巻	開始 号	開始 年	終了 巻	終了 号	終了 年	継続 マーク	登録 日付	登録 者名
	誌名 ID	所蔵 機関									
桁	X(8)	9(5)	9(4)	9(4)	9(4)	9(4)	9(4)	9(4)	X	X(6)	X(10)

(注) X=英数字、9=数字、N=日本語

図5 所蔵レコード(54桁)

項目	欠号 K E Y				欠号 卷 L	欠号 L	登録日付	登録者名
	誌名 I D	所蔵 機 関	欠号 卷 F	欠号 F				
桁	X(8)	9(5)	9(4)	9(4)	9(4)	9(4)	X(6)	X(10)

図6 欠号レコード (45 桁)

項目	誌名 I D	誌 名	誌名 の 読 み	出 版 地	出 版 者	注		記		登録日付	登録者名
						注 記 1		注 記 5			
桁	X(8)	N(80)	X(120)	N(20)	N(40)	N(40)			N(40)	X(6)	X(10)

図7a 書誌マスター (和文編) (824 桁)

項目	誌名 I D	誌 名	略 誌 名	出 版 地	注		記		登録日付	登録者名
					注 記 1		注 記 6			
桁	X(8)	N(115)	X(50)	N(20)	N(40)			N(40)	X(6)	X(10)

図7b 書誌マスター (欧文編)

項目	機 関 I D	機 関 名	機 関 名 読 み (<small>カ</small>)	機 関 名 読 み (<small>ABC</small>)	正 式 機 関 名	正 式 図 書 室 名	略 称 (<small>漢</small> 字)	略 称 (<small>英</small> 語)	機 関 長 名	図書室担当者名				郵 便 番 号	住 所	電 話 番 号
										担 当 者 1	担 当 者 2	担 当 者 3	担 当 者 4			
桁	9(5)	N(20)	X(40)	X(60)	N(40)	N(40)	N(3)	X(3)	N(10)	N(10)	N(10)	N(10)	N(10)	X(6)	N(60)	X(12)

図8 機関マスター

A0060000
 A. M. A. Archives of Neurology and Psychiatry
 Chicago
 Ad Archives of Neurology & Archives of
 General Psychiatry
 65 (1951) - 81 (1959)
 欠 67 (2), 71 (4-6)

A0430000
 Acta Neuropathologica
 Berlin
 23 (1973) - 68 (1985)

A0480000
 Acta Orthopaedica Scandinavica
 Copenhagen
 31 (1961) +

A0490011
 Acta Orthopaedica Scandinavica Supplement
 Copenhagen
 44 (1960) +
 欠 57, 89-90, 95

A0835000
 Advances in Orthopaedic Surgery
 Baltimore
 1 (1977) - 6 (1983) : Orthopaedic Survey
 1 (1977) - 6 (4) (1983)
 欠 4 (2)

A0990000
 American Heart Journal
 St. Louis
 102 (1981) +

A1050000
 American Journal of Cardiology
 New York
 48 (1981) +

A1100000
 American Journal of Dermatopathology
 New York
 1 (1979) +

A1120000
 American Journal of Diseases of Children
 Chicago
 80 (4) (1950) - 90 (1955) : A. M. A. American Jou
 rnal of Diseases of Children
 91 (1956) - 99 (1960) : A. M. A. Journal of Dise
 ases of Children
 111 (1966) +
 欠 113 (2), 126 (3-5), 130 (5), 132 (9)

A1210000
 American Journal of Medicine
 New York
 28 (1960) +
 欠 32 (5-6), 33 (2), 44 (3)

図11 コンピュータで打出した大阪回生病院雑誌目録

京都	26007	京都保健衛生専門学校 〒602 京都市上京区千本竹屋町東入主税町910 ☎075-801-2571	(略称) 京保専 KHE	
	26008	明治鍼灸大学 〒629-03 京都府船井郡日吉町保野田 ☎07717-2-1181	(略称) 明治 MCO	
	26009	宇治徳洲会病院 〒611 宇治市小倉町春日森86-1 ☎0774-20-1111	(略称) 宇治徳 UJT	
	26010	京都第一赤十字病院 〒605 京都市東山区本町15丁目749 ☎075-561-1121	(略称) 京1赤 K1R	
	26011	西陣病院 〒602 京都市上京区五辻通六軒町西入溝前町1035 ☎075-461-8800	(略称) 西陣 NH	
	26012	音羽病院 〒607 京都市山科区音羽珍事町2 ☎075-593-4111	(略称) 音羽 OTW	
	大阪	27001	国立大阪病院 〒540 大阪市東区法円坂町2-1 ☎06-942-1331	(略称) 国大 KOO
		27002	大阪逓信病院 〒543 大阪市天王寺区烏ヶ辻2丁目6-40 ☎06-773-7386	(略称) 大逓 OTB
		27003	大阪府立成人病センター 〒537 大阪市東成区中道1-3-3 ☎06-972-1181	(略称) 大成病 OSC
		27004	大阪赤十字病院 〒543 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-53 ☎06-771-5131	(略称) 大阪赤 ORC
		27005	大阪厚生年金病院 〒553 大阪市福島区福島4-2-78 ☎06-441-5451	(略称) 大厚生 OKN
		27006	住友病院 〒530 大阪市北区中之島5-2-2 ☎06-443-1261	(略称) 住友 SMT
27007		大阪回生病院 〒531 大阪市大淀区豊崎4-6-6 ☎06-371-6234	(略称) 大回生 OKH	
27008		日生病院 〒550 大阪市西区立売堀6-3-8 ☎06-543-3581	(略称) 日生 NS	
27009		淀川キリスト教病院 〒533 大阪市東淀川区淡路2-9-26 ☎06-322-2250	(略称) 淀キリ YCH	

図12 コンピュータで打出した協議会名簿

また機関マスターを利用して、会員名簿の作成も実施している(図12)。更に統計的な作業も可能である。表2はその1例で、所蔵図書室数の多い雑誌の第5位までのリストである。現在検討しているのは、現行所在目録の発

行である。データの更新を毎年各会員に要請すれば、簡単な作業で作成できる。このようにコンピュータに格納されているデータは、できる限り駆使して、協議会活動に役立てていくつもりである。

表2 コンピュータを利用した統計作業

(例 所蔵病院数上位雑誌)

和文編

1 位	日本臨床	40 病院
2 位	医学のあゆみ	38 病院
	胃と腸	38 病院
3 位	内科	37 病院
	臨床放射線	37 病院
	臨床検査	37 病院
	最新医学	37 病院
	総合臨床	37 病院
4 位	臨床病理	36 病院
	手術	36 病院
5 位	病院	35 病院
	日本医事新報	35 病院

欧文編第2版

1 位	Lancet	44 病院
2 位	N Eng J Med	40 病院
3 位	Ann Surg	39 病院
4 位	Gastroenterology	37 病院
	JAMA	37 病院
	J Pediatr	37 病院
5 位	Am J Med	36 病院
	Cancer	36 病院
	Circulation	36 病院
	JBJS Am Vol	36 病院

おわりに

文部省の学術雑誌総合目録の和文編の収録誌数は 38,076 誌、欧文編は予備版によると、90,134 誌である。また日本医学図書館協会の医学雑誌総合目録外国雑誌編には 16,125 誌が収録されている。これらはすべてコンピュータでデータベース化されていて、目録のオンライン検索が可能となっている。更に、コンピュータ技術や通信技術の急速な開発で、相互貸

借活動そのものが不要となることも予想される。

このような環境のなかで近畿地区の60余りの病院図書室で目録をコツコツ作ることの意義については、近い将来問い直す時期がくるであろう。しかし今現在は、協議会の小さなネットワークは病院の医療従事者に必要とされている。将来の予測をしつつ、現状で最も有効な手段を選び、着実な活動を進めていきたいと考えている。